

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学附属東病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

高血圧症合併2型糖尿病におけるCGMとABPMを用いた血糖変動指標および血圧変動指標と酸化ストレスの関連についての検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2015年6月1日から2018年1月31日までに当院糖尿病代謝内分泌内科において連続血糖測定器および24時間血圧測定を施行している2型糖尿病患者さんが対象となります。

2. 研究目的・方法

近年モニタリング技術の発達により、糖尿病に関しては連続血糖測定（以下CGM）で血糖変動の評価、高血圧に関しては24時間血圧計（以下ABPM）で血圧変動の評価ができるようになった。2型糖尿病において、血糖変動が酸化ストレスを惹起して、血管内皮機能を低下させ、動脈硬化を進行させることで糖尿病の血管合併症と関連している事が、高血圧においては、夜間血圧の変動が心血管疾患の予測因子であると報告されています。本研究では、当院でCGMおよびABPMを施行した高血圧症合併2型糖尿病を対象に血糖変動と血圧変動がどのように酸化ストレスに関連しているかを検討します。

研究期間

「医学部 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学医学部長（あるいは昭和大学附属東病院 病院長）の研究実施許可を得てから2019年6月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2015年6月1日から2018年1月31日までに当院糖尿病代謝内分泌内科においてCGMおよびABPMを施行している患者診療録の中から患者背景（年齢、性別、罹病期間、身長、体重、BMI、既往歴、合併症、治療薬）および臨床検査項目（空腹時血糖、HbA1c、GA・1・5AG、TG、HDL-C、LDL-C、eGFR、尿中アルブミン）、高感度CRP、d-ROMsテスト、血糖変動指標、血圧変動指標を調査項目とします。

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和大学糖尿病代謝内分泌内科

氏名： 小原 信

住所： 東京都品川区旗の台1-5-8

電話番号：03-3784-8000

研究責任者：小原 信